

「解決」への一番の近道はどれ？

感謝と配慮を忘れずに…

大切なのは「コミュニケーション」

さまざまな場面で抱く「不平等感」「差別感」。ではそれを拭き去り、笑顔で暮らしていくためには具体的にどうすればよいのでしょうか？不満を正直にぶつける？わかってくれるまで押し通す？政治に訴える？もちろんさまざまな手段があり、どれも必要なものかもしれませんが、奄美市による市民の意識調査の結果で、ひとつの答えが導き出されているように思います。

今後、男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか？

(H29 奄美市男女共同参画に関する意識調査 対象:奄美市民の男女470名)



### 第1位

夫婦や家族間で互いの立場を理解し、**コミュニケーションをよくはか**ること

職場や地域でも同じ！

### 第2位

性別によらず、家事などを身につけることができるような**育て方を**すること

子供のうちから感覚を養う



### 第3位

労働時間短縮や休暇制度を普及させ、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること **社会の仕組みを整える！**

互いの意見をぶつけあうことでは本当の理解は得られず、よいコミュニケーションがとれたとは言えません。仕事や家事、育児や介護、地域活動など、私たちをとりまくさまざまな場面では自分たちだけの力ではなく周囲の人たちに助けられて成り立っていることが多くあります。そのことに対する感謝の気持ち、そして配慮を忘れずに、コミュニケーションをとっていきましょう。

マタハラに関する相談件数

■ 婚姻・妊娠・出産等を理由とする不利益取扱い  
■ 妊娠・出産等に関するハラスメント



出典：厚生労働省平成29年度都道府県労働局雇用環境・均等部(室)での法施行状況

## “マタハラ、プレマタハラ”を知っていますか？

「マタハラ(マタニティ・ハラスメント)」は、就業中の女性が妊娠・出産・子育てなどをきっかけに、職場において精神的かつ肉体的な嫌がらせ(不当解雇・雇止め・給料減)を受けることを言います。また「プレマタハラ」は、妊娠や不妊治療中の人に対してのハラスメントを指します。結婚・妊娠しても働くことを希望する女性が増え、プレマタハラ、マタハラに関する相談件数も増加しています。知らぬ間に加害者や被害者になることがないように、正しい知識と認識を身につけましょう。

あなたも「マタハラ加害者」になっているかも？！

自身が気付かないうちに「マタハラ加害者」になっている可能性もあります。男性や出産経験のない女性には妊娠中の辛さは理解しづらく、出産経験者でも出産・育児の大変さには個人差があり、一概に自身の経験だけでは推し量れるものではありません。

大切なのはお互いの正しい知識や日頃からのコミュニケーション。どのようなサポートが必要なのかを時間をとって話し合うことが大切です。

どんなことが「ハラスメント」になるの？

採用面接などで妊娠や結婚のプランを聞かれたり、妊娠報告の際に退職を勧められたり、産休、育休取得の際に嫌味を言われたりすることがあります。

「入社してから3年は子供をつくらないように」「子どもをつくる予定はあるの?」「不妊治療での早退で迷惑をかけている」「妊娠で仕事ができないなら辞めて」などなど…

## 近年増加中～「ダブルケア問題」の実態！

ダブルケアを行う女性は**16万人**。ひとりで抱え込んでしまうことも

近年の晩婚化、晩産化に伴い、出産年齢が高齢化するにつれ、子育てと親の介護を同時にしなければならぬダブルケア問題が浮上してきています。

もともと、育児家事、介護に関する負担は女性のほうが高いことから、ダブルケア問題を抱える女性の数は増加しています。「働きたくても働けない」「子供と向き合う時間がない」「自分の時間を取れない」「相談する相手が見つからない」—このような不安を抱え、精神的にも肉体的にも負担は増していきます。これに対し、周囲の理解や行政のサポート体制が整っていないのが現状です。

### ダブルケアの例



Aさんは5歳、3歳の子どもがいる39歳女性。子どもたちを保育園にあずけて仕事をしていましたが、一人暮らしをしていた義母が認知症と持病をこじらせ、介護が必要な状態に。夫は長男なので義母を引き取り、介護は主にAさんがすることになりました。仕事は辞めざるをえず、子どもが保育園に行っている間に家事と介護、子どもが帰宅後は目の回るような忙しさ。夫は働き盛りで仕事が忙しく、相談することもあまりできずに心身ともに追い込まれるようになりました。

ダブルケアをしている人はどのくらいいるの？  
平成24年に内閣府が行った調査によると、ダブルケア(育児を行い、かつ介護を行っている)を行う者の推計人口は25万3千人。男女別にみると男性が8万5千人、女性が16万8千人となっており、ダブルケアを行う女性の推計人口は、同男性の約2倍(1.96倍)となっています。

ダブルケアの平均年齢は？  
ダブルケアを行っている人の平均年齢は男性41才、女性39歳。ちなみに育児のみを行う平均年齢は36歳、介護のみを行う人の平均年齢は59歳です。